

第 2 期魚津市教育振興基本計画の評価について（目標進捗・達成状況・施策別課題整理）

基本目標	施策		数値目標項目			実績値							計画目標値		達成状況	施策に対する評価について		
						R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 7	達成状況		施策ごとの成果	未達成要因	第 3 期計画への施策の展開
Ⅰ 社会情勢に応じて生き抜く確かな学力の育成	1 確かな学力を育む教育の推進	①幼児教育の充実（P42～）	幼稚園・認定こども園の数（P43）			6園	9 園	9 園	9 園	9 園	9園	8 園	9園	未達		令和 2 年に計画目標値に達したが、令和 6 年度末に大町幼稚園を閉園したことから、計画目標値を下回った。	大町幼稚園閉園のため。児童数の減少により、望ましい集団活動が整えることができなかったため閉園とした。	大町幼稚園閉園により、1号認定（教育標準時間認定）園児の受入れについて、公立園での受け皿がなくなった。公立園としての役割やニーズもあるため、公立保育所の「認定こども園化」の検討を進める必要がある。 また、地域の幼児教育施設と小学校との円滑な接続に向けて、関係機関が連携しながら、幼児期及び幼保小の接続期の教育の充実に一体的に取り組む。
		②学力向上の取組み（P44～）	学習の達成状況（P46） ≪小中教研学力調査の県平均（100.0）に対する市平均≫ （対象学年） 小学校：3～6年生 中学校：全学年	小学校		101.0%		100.0%	98.1%	97.0%	98.9%		102.0%	未達		「魚津っ子の学び向上委員会」の取組を推進し、教員の指導力向上のための研修会（授業改善に関する研修、大館市訪問研修）等、実践的な研修を実施し、授業力の向上に取り組んだ。	児童生徒が自ら考え、表現する学習機会を充実させることで学習の理解を図っているところであるが、学習内容の定着がやや十分ではなかったと考えられる。	「魚津っ子の学び向上委員会」の取組をさらに推進し、課題発見・解決型学習への授業改善や基礎的・基本的な知識技能の確実な習得に向けた指導力の向上を図っていく。
				中学校		93.6%		96.0%	99.3%	99.4%	94.2%		100.0%	未達				
			授業内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合（P46）	小学校	国語	89.3%		87.0%	86.4%	83.2%	87.5%		90.0%	未達		学習支援員やスタディ・メイト、ALT、GIGA支援員等、各種支援員の配置を行い、個に応じた学習支援体制の充実を図った。	一斉授業（講義型の授業中心）でのわからないまま授業が進んでしまう経験が、学習不安や苦手意識につながっていると考えられる。	引き続き、教員の授業力の向上を目指し、課題発見・課題解決型学習への授業改善の取組を進めるとともに、学習支援員等による個別支援の充実を図っていく。
				小学校	算数	81.6%		85.6%	77.2%	75.7%	76.4%		85.0%	未達				
				中学校	国語	76.8%		85.9%	82.8%	81.6%	91.5%		80.0%	○				
				中学校	算数	73.8%		68.4%	70.9%	74.2%	67.6%		80.0%	未達				
			家庭学習時間が平日 1 時間以上の児童生徒の割合（P46）	小学校		67.1%		63.0%	65.5%	53.6%	43.5%		70.0%	未達		学年だよりや長期休業のしおり等を通して、よりよい学習・生活習慣に関することなど、保護者への啓発を継続的に行った。	家庭でのスマートフォン等の利用により、娯楽コンテンツの視聴に時間を費やし、自主的な家庭学習の時間が削られてしまっていることが考えられる。	児童生徒の自立した学びの習慣化に向けて、引き続き望ましい生活習慣についての家庭への啓発に努める。
				中学校		63.9%		64.2%	61.6%	60.4%	52.2%		70.0%	未達				
			読書時間 3 0 分以上の児童生徒の割合（P46）	小学校		48.2%		39.0%	37.8%	39.7%	なし		50.0%	未達		市内の全ての小中学校に学校司書の配置を継続し、児童生徒の読書活動や授業と連動した図書室活用を推進した。	ゲームや動画等、即時的なコンテンツが普及し、活字媒体に触れる機会が減少していると考えられる。	これまで以上に教員と学校司書が連携した読書支援・授業支援の充実を図り、読書活動や調べ学習の機会を確保していく。
				中学校		27.1%		23.0%	24.8%	18.5%	なし		35.0%	未達				
		③特別支援教育の充実（P47～）	特別な支援を要する児童生徒の「個別の指導計画」を作成した割合															
Ⅱ 豊かな人間性と健やかな体を育み、ふるさとを大切に する教育の実現	2 豊かな心を育む教育の推進	①豊かな心の育成（P49～）	不登校の児童生徒の出現率（P52）	小学校		1.05%		1.40%	2.06%	3.88%	4.09%		0.70%	未達		校内教育支援センター（校内すまいる）を開設し、不登校児童生徒の登校支援や教室での学習が困難な状況にある児童生徒の支援を行った。	児童生徒の発達特性・心理的要因・家庭要因等、多面的な要因が複合的に作用し、集団生活への不適応につながっていると考えられる。	家庭と学校、関係機関との連携を強め、児童生徒や家族の抱える不安、悩みを解決・緩和に向けて更なる相談体制の充実を図っていく。
				中学校		4.43%		5.80%	8.26%	8.43%	7.98%		3.00%	未達				
			学校が楽しいと答えた児童生徒の割合（P52）	小学校		90.8%		85.6%	84.8%	86.5%	85.5%		95.0%	未達		ふるさとキャリア教育事業の取組を推進し、ふるさと発見バスや地場産業体験、1 4 歳の挑戦等、地域と連携した体験・交流活動の充実を図った。	地域での体験・交流活動をととして、学びの実感や意欲が高まることで、学校生活全体への楽しさや充実感につながっていったと考えられる。	引き続き、地域と連携した体験・交流活動の充実を図っていく。 数値目標の設定については、全国平均（例 国立教育教育政策研究所 R3調査平均推定値85～88%）と同等の目標値の設定でよいと考える。案 90%
				中学校		85.6%		85.6%	83.1%	85.0%	86.2%		90.0%	未達				
		②家庭・地域との連携（P53～）	地域の行事に参加していると答えた児童生徒の割合（P54）	小学校		72.4%		54.4%	56.1%	61.1%	なし		80.0%	未達		家庭・地域と連携し、地域行事やボランティア活動等、社会体験活動への参加について啓発を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域での対面型の活動が減少したことが影響し、数値目標が未達成となっていると考えられる。	地域行事への参加・協働を通して、児童生徒の参加意欲を高めるような環境と動機付活動への参加について啓発を行っていく。
				中学校		62.4%		46.1%	38.4%	43.5%	なし		70.0%	未達				
	3 健やかな体を育む教育の推進	①望ましい生活習慣の育成（P55～）	朝食を毎日食べる児童生徒の割合（P56）	小学校		87.7%		87.7%	86.4%	87.3%	85.1%		95.0%	未達		栄養教諭による望ましい食生活に関する給食指導や、給食だより・保健だよりによる家庭への啓発を行った。	家庭での生活習慣の変化や時間的余裕のなさ等、朝の食卓の時間が確保されにくいことが影響し、数値目標が未達成となっていると考えられる。	関係機関と連携し、引き続き「早寝早起き朝ごはん」運動や朝食の大切さを学ぶ食育授業等、家庭への啓発に努めていく。
				中学校		84.2%		88.7%	84.8%	86.2%	84.6%		90.0%	未達				
		②子どもの体力向上（P57～）	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の合計得点（P58）	魚津市	小5男子	54.23		55.31	56.70	53.44	53.01		全ての学年男女で富山県の得点を上回る	未達		児童生徒が楽しく、継続的に運動に取り組む力を伸ばすことを目指し、仲間と協力しながら楽しく体を動かす活動となるよう授業の工夫に取り組んだ。	小5、中2ともに富山県平均をわずかに下回っている。新型コロナウイルス感染症蔓延時期の行動制限による運動習慣の減少が影響していると考えられる。	全国体力・運動能力調査等の結果をもとに授業改善を進め、自発的な運動やスポーツの実施や体力の向上に努められるよう、学校や地域、関係機関が連携して運動機会の充実に努めていく。
					小5女子	58.14		56.26	58.11	57.39	55.14							
					中2男子	39.92		42.12	40.30	40.29	41.05							
					中2女子	49.23		47.08	46.31	45.62	42.84							
				富山県	小5男子	54.68		53.88	53.94	54.29	53.27							
					小5女子	57.89		56.47	56.68	57.12	55.90							
					中2男子	41.86		42.03	41.19	41.92	42.19							
					中2女子	50.20		48.92	48.08	47.56	47.25							

第2期計画から修正が必要な施策、第3期計画へ施策の新たな視点等、どのようなことでも構いませんので記載してください。

第 2 期魚津市教育振興基本計画の評価について（目標進捗・達成状況・施策別課題整理）

基本目標	施策		数値目標項目			実績値							計画目標値		施策に対する評価について		
						R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 7	達成状況	施策ごとの成果	未達成要因	第 3 期計画への施策の展開
Ⅲ 子どもの健やかな成長を支える教育環境の充実	4 学びを支える教育環境の整備推進	①安全・安心な学校施設の充実（P59～）															
		②小学校の規模の適正化と通学安全対策（P60～）	小学校の適正規模数の割合（P61）			80.0%	60.0%	80.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	80.0%	未達	統合未済の学校について、対象地域の児童数に注視している	少子化の影響による。	児童数による適正規模だけでなく社会の変化に対応した地域の将来につながる人材育成の観点から、検討が必要。
		③学びのセーフティネットの構築（P62～）															
Ⅳ 学びたいときに学ぶことができる、生涯学習社会の実現	5 ふれあい豊かな生涯学習の推進	①コミュニティセンター公民館での教育力の向上（P63～）	生涯学習活動地区公民館活動の参加者総数（P64）			18,445人	8,043人	10,342人	12,646人	13,013人	14,361人		18,500人	未達	・地域の生涯学習の拠点としてコミュニティセンター（公民館）において各種教室等を実施。	・計画目標値を高く設定したことや人口減少等の影響による。	・指標としては適切。 ・参加者増の取組みが求められる。
			内、放課後子ども教室・土曜教室への参加者数			4,934人	1,883人	2,374人	3,351人	3,929人	3,888人		5,000人	未達			
		②生涯を通じた学びの推進（P65～）	市の社会教育施設での各種学級、講座等の開催数（P65）			1,068回	666回	776回	806回	705回	776回		1,070回	未達	・上記に加え、生涯学習教室を修了した受講生で作る友の会への支援を実施した。	・高齢化による教室休止や人口減少等の影響による。	・市関連の生涯学習教室の開催数のみを実績としているが、市全体の生涯学習の状況を把握しているかは疑問。
		③図書館機能の充実と読書活動の推進（P66～）	図書館の入館者数（P67）			202,730人	148,075人	151,318人	156,010人	158,730人	144,621人	未確定	203,000人	未達	新刊本や郷土資料など市民の生涯学習に寄与する資料を収集、保存、提供した。 図書館ボランティアとともに、読み聞かせ会やこども会等の各種行事を開催するとともに、外部講師を招聘し、講演会と関連展示を実施したほか、郷土に関する文学教室や歴史講座を開催し、利用者増を図り幅広い市民に学びの場を提供した。 また、学びの機会の新しい場所として、電子図書館を令和 3 年に運営開始し継続している。	施策展開においては、各年度において着実に実施していたが、少子化（貸出冊数が多い子供の減少）や働く高齢者の増、隣接市の同施設リニューアル（市外利用者の減）等、減少要素の増大から、数値目標が未達成となった。	これまで以上に関係機関および庁内各部署との情報共有及び協力体制を深め、相互の専門性や資源を最大限に活用することにより、施策の効果をより高いものとする。 一方で、数値目標の設定については減少要素の増大から現状維持を目標とし、下方修正する。
			市民一人あたりの図書（電子書籍含む）貸し出し冊数（P67）			6.6冊	6.7冊	5.6冊	5.4冊	5.5冊	5.1冊	未確定	7.6冊	未達			
		④ふるさとの歴史や自然、文化の保存・継承・活用（P68～）	文化財保存活用事業への年間延べ参加者数（P69）			1,289人	898人	901人	926人	1,045人	1,112人		1,350人	未達	・文化財指定を目指しての調査や関係機関との協議を実施。 ・指定文化財の保存継承事業や埋蔵文化財包蔵地に関わる調査事業の実施	・コロナ禍によるイベント等の事業休止や人口減少等の影響による	・国文化財指定後に作成が求められる保存活用計画や管理計画の策定業務が重複する場合、人員拡充措置も必要
	④博物館の充実（P70～）	魚津歴史民俗博物館の入館者数（P71）				5,981人	3,125人	4,514人	4,075人	2,134人	2,875人		7,000人	未達	（歴博） ・特別展の継続的な実施（年 1 回のミニ展示会と企画展の開催）。 ・歴博収蔵資料のデータベース化を実施と公開にむけた作業の継続。	（歴博） ・計画目標値を高く設定したことやコロナ禍による施設の休止、歴史民俗資料館の解体による入館者数の半減による。	（歴博） ・公共施設再編方針等による既存施設の解体による収蔵品保管施設の検討と博物館施設の長寿命化計画に基づいた予算措置（確保）を求めている。 （埋没） ・入館者数に加え、博物館教室の回数や参加者数も重視してよいと思う。 （水族） ・ 4 代目構想に向けた協議と博物館施設の長寿命化計画に基づいた予算措置（確保）を求めている。
			魚津埋没林博物館の入館者数（P71）			39,659人	17,892人	19,154人	27,453人	29,624人	30,591人		50,000人	未達	・市教委所蔵資料のデジタル化を実施（書籍・古写真、フィルム、ビデオテープ等）。 （埋没） ・企画展や博物館教室の開催で生涯学習の場としての使命を果たしている。	・期間中に新型コロナウイルス感染症の影響により開館できない時期や外出自粛による影響を受けた。また、エレベータ改修などで臨時的に長期の休館があったため。	
			魚津水族博物館の入館者数（P71）			157,300人	99,026人	111,099人	152,871人	149,349人	162,878人		150,000人	○	（水族） ・特別展及びイベントの継続的な実施（年 1 回の企画展と、数回の館内イベントの開催）。 ・水族博物館資料のデータベース化を実施と公開にむけた作業の継続。	・イベント・SNS効果もあり、昨年度は計画目標値を達成しているが、より有料入館者が増加するような企画、イベントを実施し、情報を発信していく。	
6 豊かな心を育む芸術文化活動の推進	①芸術文化活動の推進（P72～）	新川文化ホール等で開催される企画事業の延べ入場者（参加者）数（P72）				29,612人	9,532人	14,257人	23,859人	20,931人	24,226人		30,000人	未達	・舞台芸術鑑賞会、市民文化祭、市美術展、音楽のまちづくり推進事業等を実施。	・計画目標値を高く設定したことや少子高齢化等の影響による。	・指標としては適切であり、今後も維持。
		市美術展や市民文化祭の出演者及び出典出展者の延べ人数（P72）				758人	494人	624人	549人	524人	496人		770人	未達			
	7 健やかな心と体をつくるスポーツ活動の推進	①生涯スポーツ・レクリエーションの推進（P73～）	スポーツイベントの参加者数（P74）			7,562人	758人	3,479人	6,614人	7,407人	8,038人		7,800人	○	・市民体育大会をはじめとしたスポーツ大会を実施。 ・ユニバーサルスポーツであるボッチャの普及を図るため、令和 3 年度から大会を継続して実施。		・数値を拾う単純作業であり、活動指標としての意味合いもあり、今後も維持。
		②競技スポーツの推進（P75～）	国際大会及び全国大会等への出場者数（P76）			35人	21人	60人	101人	97人	108人		42人	○	・スポーツ振興及び競技力向上を図るため、国際大会及び全国大会等への出場選手に対し、奨励金の交付を実施。		・レクリエーションを目的とする大会は、奨励金の交付対象から省かれているものの、奨励金自体が競技力向上に直接役立っている実感は無い。
		③スポーツによる活力のあるまちづくりの推進（P77～）	スポーツ合宿実施件数（P78）			14件	0件	0件	0件	0件	1件		17件	未達	・実施件数の取りまとめ不能。 ・実績はR6にコンペション補助金の1件を記載したのみ。		・この施策の指標として適切か疑問。

第2期計画から修正が必要な施策、第3期計画へ施策の新たな視点等、どのようなことでも構いませんので記載してください。

ドロップダウンリストから選択

正しくは60%